

子どもを乗せて 1円電車が復活

市は10月31日、朝来支所前で「あさご健康さわやかまつり2010」を開催しました。

健康相談やあさご鍋のふるまひなど様々な催しが行われる中、一際参加者の目を引いたのは、あさご観光協会による「動く1円電車模型」。神子畑選鉱場と明延鉱山の間で運行されていた明神電車（1円電車）の模型が5.5分の1の大きさで復活し、終日もたち大人気でした。また、電車の模型を眺め、当時を懐かしむ人の姿も見られました。



1周40分のコースを走る「動く1円電車模型」

平和を願い 戦没者追悼式

市は、「平成22年度朝来市戦没者追悼式」を10月30日、和田山ジュピターホールで開催し、遺族ら約350人が参列。大戦で犠牲となった1885柱の冥福を祈りました。

遺族会朝来市支部の福富道康副支部長は、「先の大戦が終わって65年の歳月が流れました。戦争の記憶も薄れ、風化されようとしています。私たちは体験者として戦争を二度と繰り返すことのないよう若い世代に語り継いでいかなければなりません」と追悼の言葉を述べ、参列者は、恒久平和と不戦の誓いを胸

に献花と黙とうを行いました。



遺族代表による御霊の入场

我がまち朝来 再発見

第37回

農耕が始まった
朝来市の弥生時代①

◆王権へのプロセス

今から約2300年前の紀元前3世紀頃。それまで、食糧を狩りなどにより獲得する時代であった旧石器時代や縄文時代に変わり、中国大陸や朝鮮半島から農耕技術が伝わり新たな時代が始まりました。弥生時代の始まりです。

農耕は人と土地との関係を深め、その結果定住が促進され、まとまった集落が形成されました。またこの時代は農耕に関わる道具や金属器の使用などに代表されるように、人々の生活水準を高度にしましたが、その反面、農地を含む土地の争いが恒常化し、戦争



弥生式土器(前期)

が始まった時代でもありません。やがて、地域をまとめる代表者(権力者)が現れ、紀元3世紀の終わり頃から4世紀頃には地域を政治的に治める古墳時代へと移っていきます。この間約600年。弥生時代はまさに「原始」から「古代」への変化点にあたる過渡期としての時代でした。今回は弥生という時代の最大の特徴である農耕の始まりについて説明します。

◆農耕の始まり

1884年(明治17)、東京都文京区弥生町で発見された土器は、出土した地名を冠して「弥生式土器」と命名されました。その後、この土器に「弥生」の